

会 議 記 録

市民参加協働部 市民参加・協働推進課

開催日	平成 26 年 7 月 31 日 (木)	開催時刻	19 時 00 分から 20 時 30 分
会議名	上田西部地域協議会(平成 26 年度第 4 回)		
出席者	渌委員、石塚委員、市村委員、小市委員、小宮山委員、塩野崎委員、渋谷委員、清水委員、関口委員、高橋委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、馬場委員、濱村委員、堀内委員、増田委員、宮下委員、母袋委員 (欠席委員) 山崎委員、湯田委員 (事務局) 水野地域振興政策幹、堀内市民参加・協働推進課係長、樋口市民参加・協働推進課主事		
会議次第			
1 開会 (事務局)			
2 会長あいさつ 御苦労様です。毎日暑い日が続いております。本日は第 4 回ですが、貴重な時間をいただきながら、わがまち魅力アップ応援事業の審議をしていただきたいがございます。本日 2 名の欠席ですが、委員の過半数の出席がありますので、上田地域自治センターの条例の規定によりこの協議会は成立いたします。それでは会議事項の方へ入りたいと思います。それでは事務局よりお願いします。			
3 会議事項			
(1) わがまち魅力アップ応援事業の審査			
事務局： 本日はわがまち魅力アップ応援事業の審査をお願いするにあたり、簡単に説明させていただきます。(資料を基に説明)			
会長： ただいまの説明で何か質問ありますか。ないようですので、審査へ入りたいと思います。西部地域軽トラ市推進委員会の方お願いします。			
申請者： 西部地域軽トラ市推進委員会です。よろしくお願いします。 (資料を基に説明)			
会長： それでは質問ある方はお願いします。			

委員： 参加費が1回500円ということですが、わがまち魅力アップ応援事業の補助が終了した後、これだけで運営は難しいと思われます。補助が終了したあとの運営方法についてはどのようにお考えですか。

申請者： 本事業は3年間の補助金の申請をしております。他の軽トラ市を見ても、安定して参加者が集まるのが、3年間ほどかかるということです。とりあえず、参加者を集めることに重点を置き、その後については、出店者と話し合い、金額をあげるか、また売り上げの数パーセントを頂くという形にするか検討していきたいと思っています。

委員： 丸山邸の管理者や自治会をはじめとする地域との連携はどのようなものでしょうか。

申請者： 丸山邸については、いろいろな事業が展開されてきましたが現在は施設をお貸しする場となっています。また、地域につきましては、採択となりましたら周辺自治会の役員会等にお邪魔させて頂き、事業説明等行い、御理解・御協力をいただきたいと思いますと考えております。

委員： 会場についてですが、一方通行の道があり、なかなか集まりにくいと思いますが、他の会場で開催されてはいかがでしょうか。

申請者： しばらくはこの場所での事業の定着に重点を置き、段々と定着してきたら、他の会場で開催するという事も検討していきたいと考えております。

委員： 集客についてどの程度見込んでおられますか。人が集まらなければ途中で挫折してしまうということはありませんでしょうか。また、買物弱者の方の数はどの程度見込んでいますか。また、雨天の場合はどうするか考えをお聞かせください。

申請者： 集客についてですが、野菜のみならず、他のものを販売するようになりたいと考えています。また、挫折せずにやり続けるということをお約束になってしまいましたが、お約束します。そして買物弱者についてですが、現在アリオさんで移動販売を行っているそうです。ある程度トラックが集まったら、それらの取組をうまく活用していきたいです。

委員： 県内の他の軽トラ市を調査しましたか。

申請者： 長野や松本の軽トラ市は実際に視察してまいりました。特に長野市で開催されている軽トラ市は人が集まり賑わっておりますので、その軽トラ市を見本にしてやっていきたいと思ひます。

委員： 軽トラ市で売られる商品は決まりがありますか。

申請者： 買い物に来る方の要望を聞きながら商品を考えていきたいと思ひます。

委員： 月一度の回数だと皆さんに浸透しないと思ひますので、回数を増やされたらどうでしょうか。またその市場に自治会等の話ができる場を用意した方がよろしいかと思ひます。

申請者： ありがとうございます。また検討したいと思ひます。

委員： 軽トラックのみを対象とした販売ですか。

申請者： 軽トラ市というのは名称ですので、特に車の指定はありません。

委員： 内訳書を見ると半被、のぼり旗等東京の会社から購入するようになっていますが、東京の会社から購入する理由は安いからでしょうか。

申請者： 最初は時間がなかったなので、ネットで安い所で選びましたが、地区内で購入出来ると聞きましたので可能な限り地元より購入するようにしたいと思ひます。

委員： 長野市の軽トラ市は成功されているとのことですが、その理由は何だとお考えですか。

申請者： 市場をやったことがある人がいるということと、参加しているトラックの人が別のトラックの人を呼び込んで大きくしていることが一番の成功理由だと思ひます。

委員： 買い物したのを運んでくれたりはしていただけますか。

申請者： もちろんです。私達がお手伝いします。

会長： ありがとうございます。以上で審査を終了します。審査調書を提出してくだ

さい。

(2) 第五期分科会の取組課題について

会長： 続きまして前回お配りした西部地域第五期協議会の取り組みについて大きく 3 つに分けようとなりましたが決定には至りませんでしたので、この件で事務局より説明をお願いします。

事務局： 第五期の取組課題について寄せられました中で「地域防犯力を生かし、安全で快適なまちづくり」「多様な地域の資源を活用し、将来を担う子ども達を地域ぐるみで育てるまちづくり」「地域が一体となり高齢者や障害者を支え、誰もが安心して暮らせるまちづくり」の 3 つの分科会に分かれて話し合ってはどうか。また「西部公民館をコミュニティ活動拠点として整備し、地域が主体となったまちづくり」と「その他」は後日機会を設けて全体で話し合うようにし、特にについては特別委員会を設置し、別の時間帯で話し合いを設けるようにして「歴史的遺産の積極的な活用による地域の振興」と「地域に誇れる自然環境の保全と有効活用」は大事な視点ではありますが、前回も取り上げた内容でもありますので今回は割愛して 3 つの分科会の案を考えております。

会長： ただ今の案についてどうでしょうか。地域内分権についてはみなさんと話し合っただけで進めていく方向でいいでしょうか。

委員： 「歴史的遺産の積極的な活用による地域の振興」はまだ活動継続している団体がありますが、この協議会では連携をとらないということでしょうか。

会長： これは失礼いたしました。これは継続としてやるように引き継がれていました。この件は地域内分権と同じ枠として、特別分科会として考えていきたいと思えます。それではこの 3 つの課題に属してもらいたいと思えますので、次回の協議会までに第 2 希望まで決めておいていただきたいと思えます。

委員： 地域内分権についてですが、市でもいろいろと協議されているようですので、他との競合というかどこまで話し合っているのかということもあり、大変難しい議題であると思えますので他の状況をみてから進めていった方がいいと思えます。

委員： 分科会であげた 3 つ以外の課題が生じた場合は、全体会で議論して理解を深め

ながら方針を出していけばいいと思います。

会長： ありがとうございます。そのようにしていきたいと思います。分科会の話は以上で終了します。

(3) 次回会議の開催と日程について

第5回西部地域協議会 平成26年8月29日(金)

第6回西部地域協議会 平成26年9月25日(木)

4 報告事項

5 その他

6 閉会